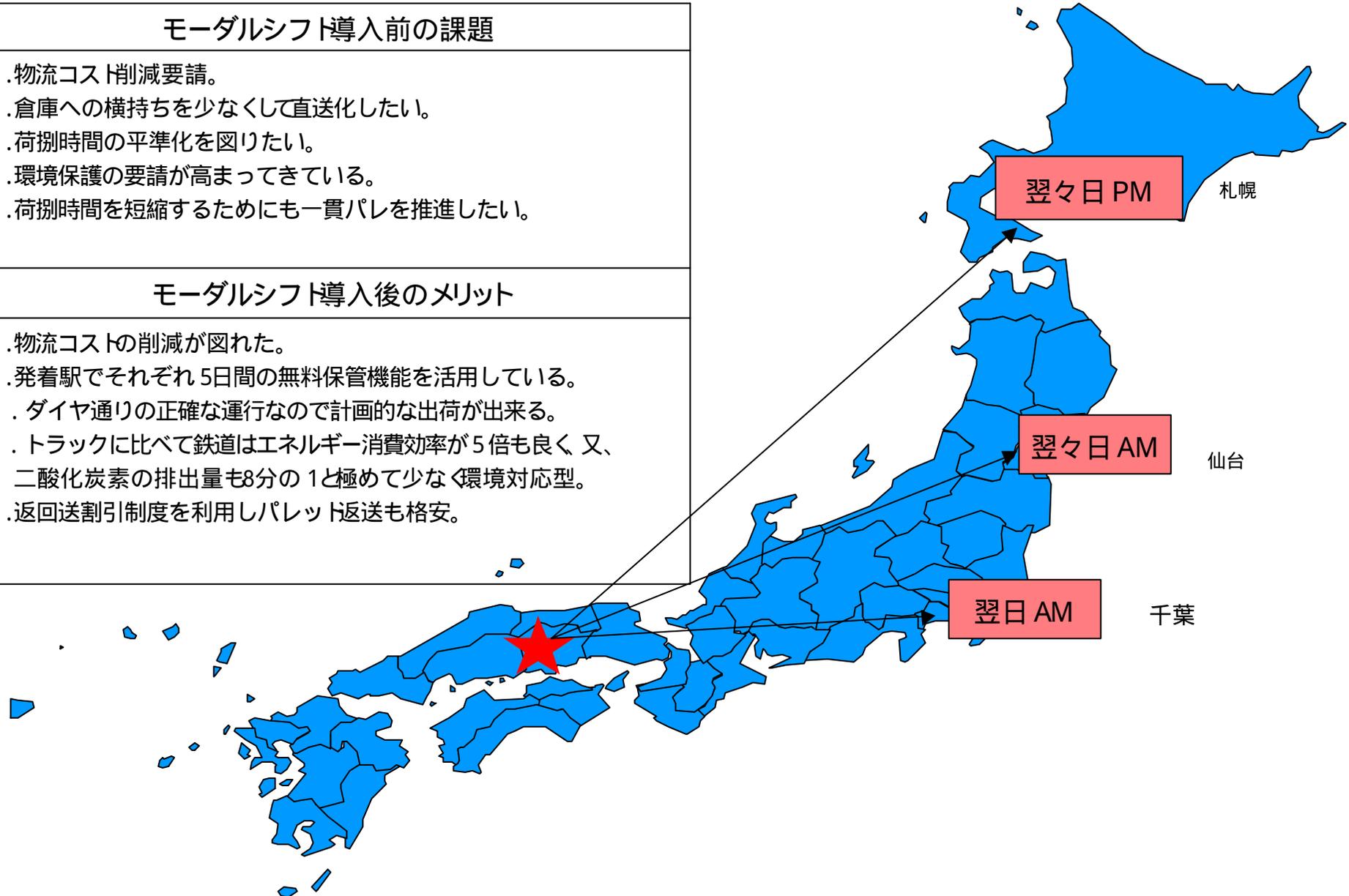


# 鉄道利用の事例

長距離輸送を鉄道にモーダルシフトした岡山のA社

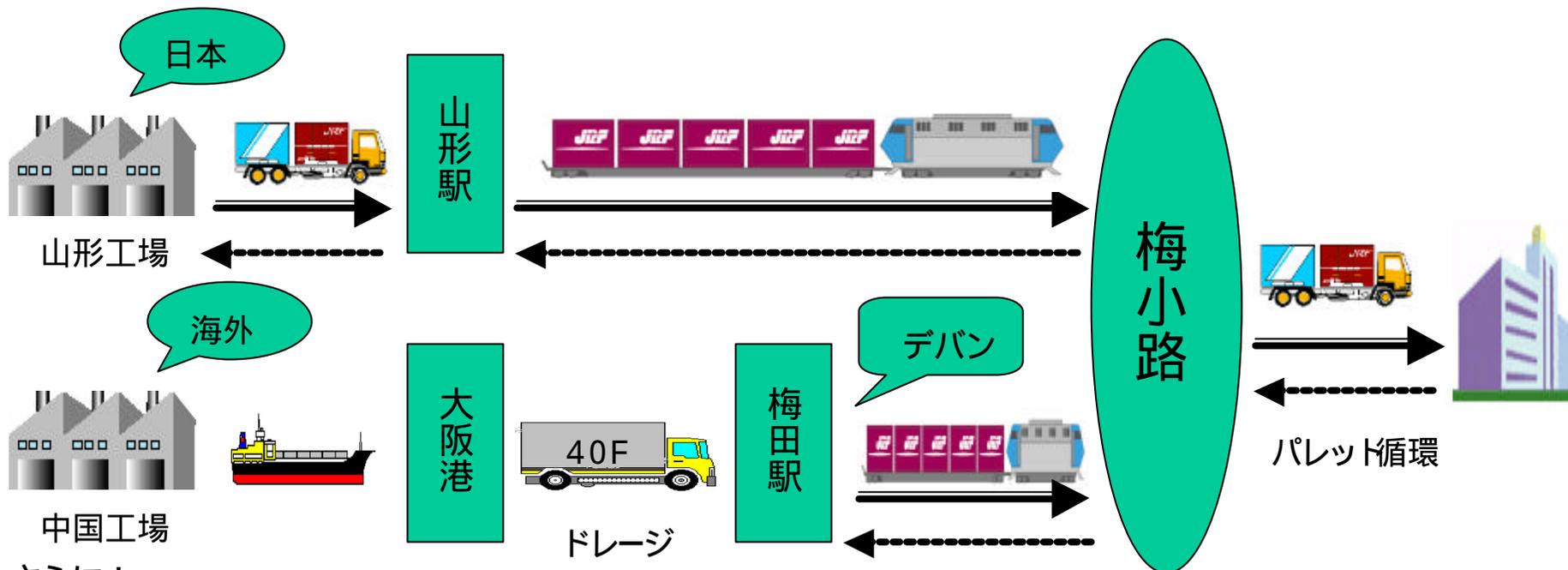
モーダルシフト導入前の課題
<ul style="list-style-type: none"><li>1. 物流コスト削減要請。</li><li>2. 倉庫への横持ちを少なくして直送化したい。</li><li>3. 荷捌時間の平準化を図りたい。</li><li>4. 環境保護の要請が高まってきている。</li><li>5. 荷捌時間を短縮するためにも一貫パレを推進したい。</li></ul>
モーダルシフト導入後のメリット
<ul style="list-style-type: none"><li>1. 物流コストの削減が図れた。</li><li>2. 発着駅でそれぞれ5日間の無料保管機能を活用している。</li><li>3. ダイヤ通りの正確な運行なので計画的な出荷が出来る。</li><li>4. トラックに比べて鉄道はエネルギー消費効率が5倍も良く、又、二酸化炭素の排出量も8分の1と極めて少なく環境対応型。</li><li>5. 返送料割引制度を利用しパレット返送も格安。</li></ul>



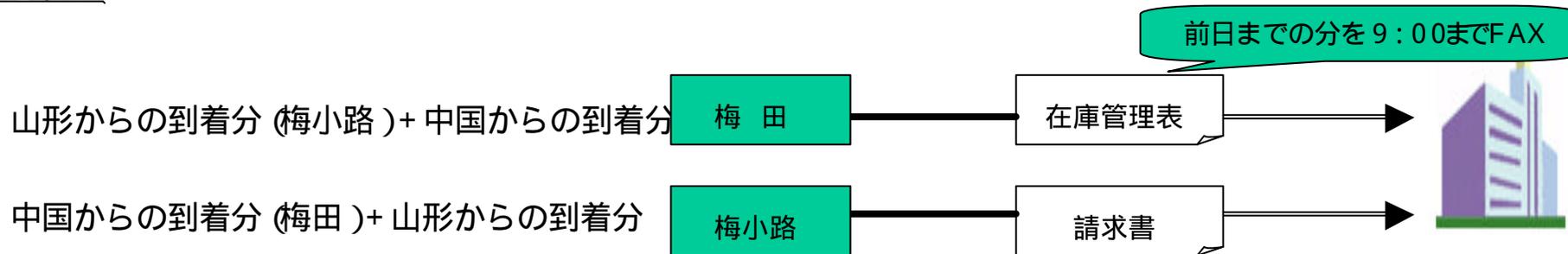
# 鉄道利用の事例

輸入貨物と国内からの貨物を組み合わせた鉄道輸送の仕組みを構築したL社

## 輸送フロー



## さらに!



## 成約ポイント

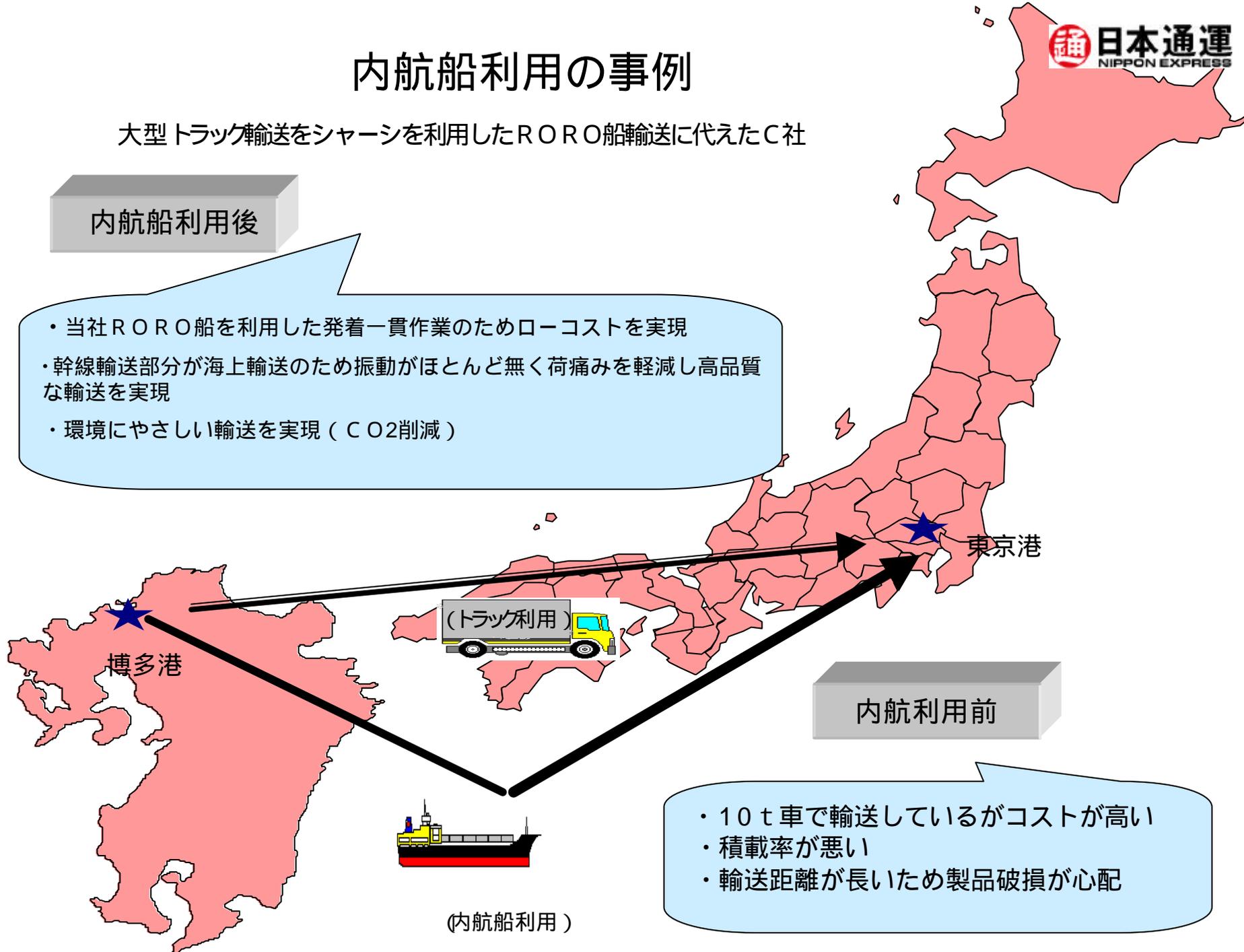
- ・輸送だけではなく在庫管理や一括請求システムなどを組入れたトータルプランニング提案
- ・駅構内での輸入貨物デバンニング 港頭倉庫の利用廃止

# 内航船利用の事例

大型トラック輸送をシャーシを利用したRORO船輸送に代えたC社

## 内航船利用後

- ・当社RORO船を利用した発着一貫作業のためローコストを実現
- ・幹線輸送部分が海上輸送のため振動がほとんど無く荷痛みを軽減し高品質な輸送を実現
- ・環境にやさしい輸送を実現（CO2削減）



- ・10t車で輸送しているがコストが高い
- ・積載率が悪い
- ・輸送距離が長いので製品破損が心配